

HiKOKI

小形集じん機

R 30Y3

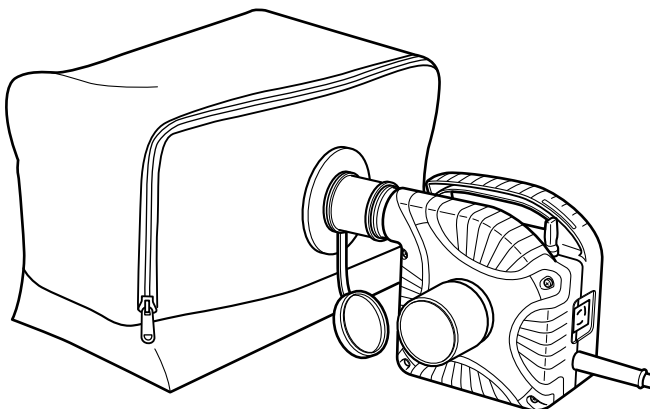
R 30Y3(S)

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



R 30Y3

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
集じん機の安全上のご注意	2
小形集じん機の使用上のご注意	3
各部の名称	5
仕 様	6
標準付属品	7
別売部品	8
用 途	13
作業前の準備	14
ご使用前に	16
使 い 方	17
過負荷保護ヒューズについて	24
保守・点検	24
ご修理のときは	裏表紙

△警告、**△注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」、「△注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

△警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**
表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **作業に合った集じん機を使用してください。**
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
- ⑦ **集じん機は、注意深く手入れをしてください。**
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 使用する前にコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ **次の場合は、集じん機のスイッチを切り、元の電源を OFF にしてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - ホース、フィルタなどの付属品や別売部品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。

警告

- ⑨ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業してください。
- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑪ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- ⑫ 集じん機の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

小形集じん機の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、小形集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

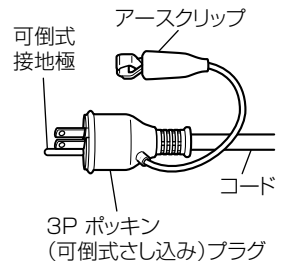
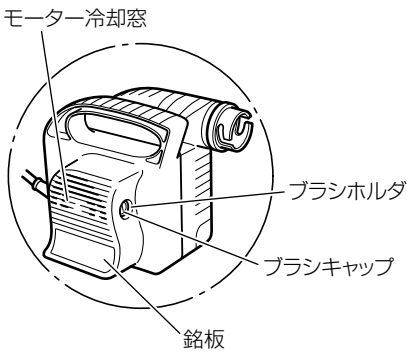
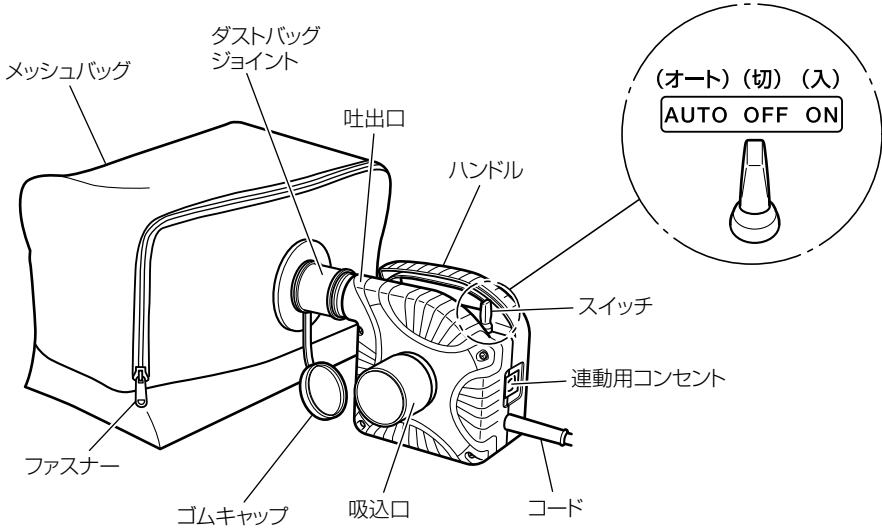
- ① 必ずアース（接地）してください。
- 故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。（詳細は、14ページの「1. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」の項を参照してください。）

⚠警告

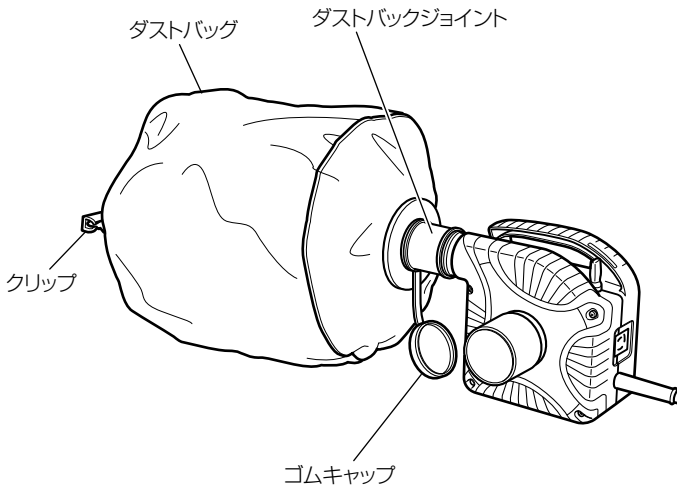
- ② **連動用コンセントに接続できる電動工具の消費電力は 1,050 W までです。1,050 W 以下で使用してください。**
1,050 W を超える消費電力の電動工具を連動用コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路やさし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。
- ③ **定格 15 A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。**
他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。
- ④ **以下のものは吸わせないでください。**
 - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
 - 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。 ● 水・油などの液体。
 - 木片、金属、石など
 - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。また、可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
火災やけがの原因になります。
- ⑤ **ホース、メッシュバッグ、およびダストバッグの着脱は、ファンの回転が停止したことを確認してから行ってください。**
けがの原因になります。
- ⑥ **機体やさし込みプラグに水や油などをかけたりしないでください。**
この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ⑦ **モーターの冷却窓をふさいだ状態で使用しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター焼損などの故障の原因になります。
- ⑧ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑨ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑩ **この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。**
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

各部の名称

R 30Y3



R 30Y3(S)

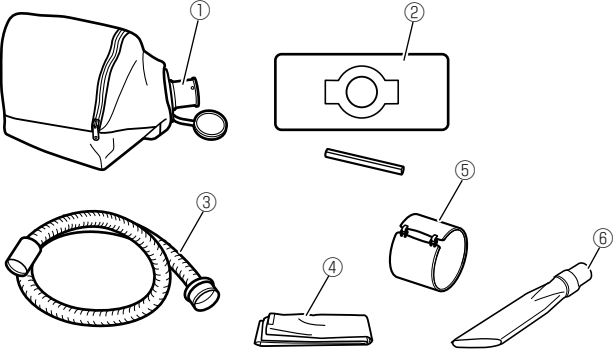
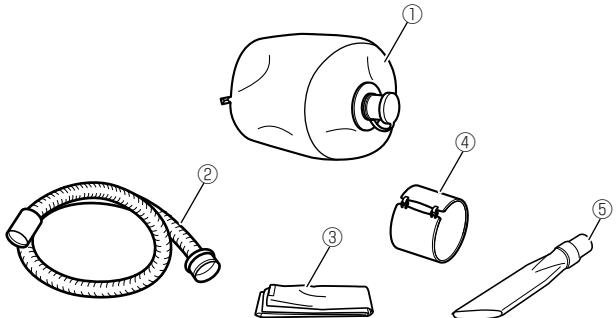


仕 様

使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
電 流	4.7 A
消 費 電 力	450 W
連動用コンセント	180 ~ 1,050 W (使用できる電動工具の消費電力)
最 大 風 量	3.3 m ³ /min
最 大 真 空 度	6.6 kPa {670 mm 水柱}
集じん容量(*)	6.6 L (3 kg)
外 形 寸 法	奥行 200 × 幅 200 × 高さ 174 mm
質 量	2.2 kg (コード、メッシュバッグ、ダストバッグ、ホースを除く)
コ ー ド	アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル 5 m

* : 紙フィルタ使用時

標準付属品

形名	標準付属品
<p>R 30Y3 メッシュバッグ付</p>	 <p>① メッシュバッグ 1 個 ② 紙フィルタ (5 枚。クリップ 1 個付) 1 組 (容量 6.6 L) [コード No. 0032-3199] ③ ホース (内径φ 25 × 長さ 5 m) 1 本 ④ ホースカバー 1 個 ⑤ ホースバンド (ゴム製) 3 本 ⑥ すき間用吸口 1 個</p>
<p>R 30Y3(S) ダストバッグ付</p>	 <p>① ダストバッグ 1 個 ② ホース (内径φ 25 × 長さ 5 m) 1 本 ③ ホースカバー 1 個 ④ ホースバンド (ゴム製) 3 本 ⑤ すき間用吸口 1 個</p>

別売部品

……………（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

1. 逆接地アダプター



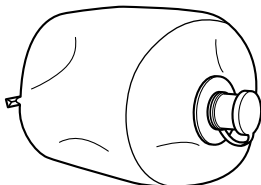
警告

- アースクリップ付 2P さし込みプラグの製品を接続する場合には、逆接地アダプターを連動用コンセントに取付け、必ずアース（接地）してください。



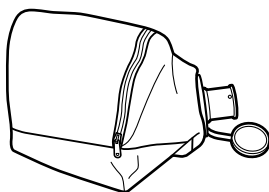
[コード No. 319985]

2. ダストバッグ（木工のこくず・粉じん用）（容量 18 L） （適用形名：R 30Y3）



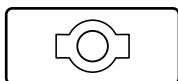
[コード No. 323524]

3. メッシュバッグ（適用形名：R 30Y3(S)）



[コード No. 323-336]

4. 紙フィルタ（5 枚。クリップ 1 個付）（適用形名：R 30Y3(S)） （容量 6.6 L）

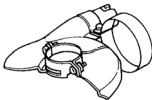
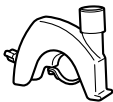


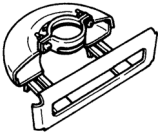



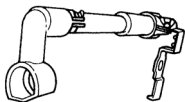
[コード No. 0032-3199]

5. 集じんアダプタ・ジョイント

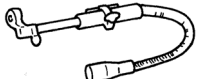

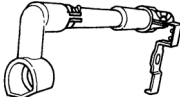
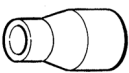

⚠ 警告

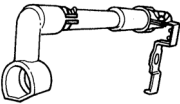



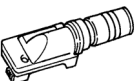
- 表中の適用形名で 1,050 W を超える消費電力の電動工具は、連動用コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路やさし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。1,050 W を超える消費電力の電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。

集じんアダプタ・ジョイント		適用形名	
適用製品名			
ディスクサンダ用 [コードNo. 986383] 		S 10SA3	
ディスクグラインダ用 ① ダイヤモンドホイール使用時 [コードNo. 0032-3918] 		G 10B2 G 10B3 G 10BYE G 10MH G 10ML G 10SB1 G 10SG G 10SH3 G 10SH4 G 10SH5 G 10SH6 G 10SL3 G 10SL4 G 10SL5 G 10SL6 G 10SM2 G 10SM3 G 10SP3 G 10SP4 G 10SQ G 10SS G 10ST	G 10VE G 10VH G 10YA1 G 10YE2 G 10YH G 10YH2 G 14DBBVL G 14DBVL G 14DSL G 18DBBAL G 18DBBVL G 18DBVL G 18DSL G 3610DA G 3610DB PDA-100H PDA-100J PDA-100N PDH-100H PDH-100J PDH-100N

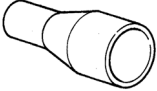

集じんアダプタ・ジョイント				適用形名	
適用製品名					
ディスクグラインダ用 ② ダイヤモンドホイール使用時					
	ホイルガード ベースセット	集じん アダプタ	ジョイント	G 13B	G 13SQ
	コードNo.	[コードNo. 309682]	[コードNo. 319986]	G 13BYE	G 13SS
	309819			G 13S4	G 13VE
	315924			G 13S5	G 13VH
317812			G 13S6	G 13YC	
				G 13SH3	G 13YE2
				G 13SH4	G 13YH2
				G 13SH5	G 18DBBVL
				G 13SH6	(L125)
				G 13SM2	G 18DBVL
				G 13SM3	(L125)
				G 13SP	G 3613DA
カッタ用 [コードNo. 986382]				G 15SP	
				G 15YE G 15YE2	
振動ドリル用			コードNo.	V - 19	
			986384	DV 21V	
			986385	VTP - 25	
			986386		

(次ページへつづく)

集じんアダプタ・ジョイント			適用形名	
適用製品名				
振動ドリル用 ロータリハンマドリル用 (コードレスロータリハンマドリル) 	集じん アダプタ コード No. 308776	ジョイント [コード No. 319986] 	DH 14DBL DH 28PB DH 14DSL DH 28PBY DH 15DV DH 28PCY DH 18DBL DH 28PF DH 18DSL DH 28PFY DH 18M DH 28PG DH 18MB DH 28PH DH 18PB DH 28PMY DH 18PH DH 36DAL DH 18VB DH 36DBL DH 20DV DH 36DPA DH 22PB DV 10V DH 24DV DV 12V DH 24DVA DV 16V DH 24PB3 DV 18VA DH 24PC3 DV 19V DH 24PF3 DV 20VB2 DH 24PM DV 20VE DH 25DAL DV 20VF	
ロータリハンマドリル用 ① インパクトドリル [コード No. 990910]  ドリルビット専用 (錐径 5 ~ 18 mm) (長さ 209 mm まで)	DH 25PB			
ロータリハンマドリル用 ② ロータリハンマドリル [コード No. 308774] 	ジョイント [コード No. 319986] 	DH 24PD2 DH 24PD3		

集じんアダプタ・ジョイント		適用形名	
適用製品名			
ハンマドリル用  ドリルビット専用 (錐径 11 ~ 22 mm) (長さ 280 mm まで)	コードNo.	PR - 25B	PR - 38E
	986387		
	986388	DH 35	
	317341	DH 40MB	DH 40SA
ジグソー用 	コードNo.	CJ 65SC	CJ 65VC
	306054	CJ 65TC	CJ 70V
	306021	CJ 55	CJ 65VE
	321591	CJ 14DSL	CJ 110MV
		CJ 18DSL	CJ 120
集じん丸のご用 	コードNo.	C4YA1	
	997644		
オービタルサンダ用 [コード No. 339382] ランダムサンダ用 		SV 12SD	SV 13Y

(次ページへつづく)

集じんアダプタ・ジョイント			適用形名	
適用製品名				
卓上丸のこ用 	コードNo.	ジョイント [コードNo. 319986] 	C 6RSB	C 8FC
	308506		C 6RSH	C 8FSB
	308507		C 6RSHC	C 8FSE
			C 7FC	C 8FSH
			C 7FCH	C 10FD3
			C 7FSB	C 10FSH
			C 7FSB2	C 12FSA
			C7FSH	C 12LCH
			C 7FSH2	C 12LDH
			C 7RSB	C 12RSH
			C 7RSC	C 12RSH2
			C 7RSH	C 15FB
			C 7RSHC	C 3606DRA
			C 8FB2	
			C 10FE	C 15FC
			C 12FS	

6. ホースバンド

	呼 径	コードNo.	用 途
	φ 38	308470	集じんアダプタの接続部に使います。

用 途

- 電動工具でのコンクリートや木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認



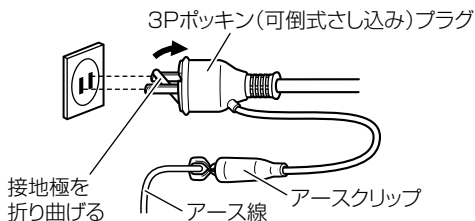
警告

- アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対に取付けしないでください。

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また、この機体は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースは、接地極のある電源コンセントに 3P ポッキンプラグ（接地極付プラグ）をさし込んで行います。接地極のない電源コンセントに接続するときは、下記の図のように接地極を折り曲げて電源コンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続して行います。



アースクリップ、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと機体金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。

2. 延長コード



- 延長コードは、損傷のないものを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。
次の表は、使用できるコードの太さと、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
3.5	15
5.5	25

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「集じん機の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

スイッチ(5ページの図参照)は、「ON」(入)側に倒す、または「AUTO」(オート)側に倒すと入り、「OFF」(切)に戻すと切れます。スイッチが「OFF」(切)になっていることを必ず確認してください。

3. 紙フィルタ、ダストバッグの確認

紙フィルタ、メッシュバッグ、ダストバッグは17～19ページの「1. 紙フィルタを取付ける」、「2. クリップを取付ける」、「3. メッシュバッグ、ダストバッグを取付ける」の項を参照し、正しく取付けてください。

4. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

使 い 方

- 注** •特に石こうボードを切断する場合は、石こうボード専用のチップソーを使用してください。

機体の吸込口につまりにくくなります。

- 紙フィルタ内、ダストバッグ内に粉じんをため過ぎると、粉じんが機体内を逆流してモーターの冷却窓から吹き出したり、機体の吸込口につまることがあります。

このようなときは、紙フィルタ内、ダストバッグ内の粉じんを捨ててください。粉じんを捨てても逆流する場合は、紙フィルタ、ダストバッグが目づまりしているのので、新しい紙フィルタに交換、またはダストバッグを軽くたたき、除じんしてください。

次に示す一例を目安として、新しい紙フィルタに交換してください。

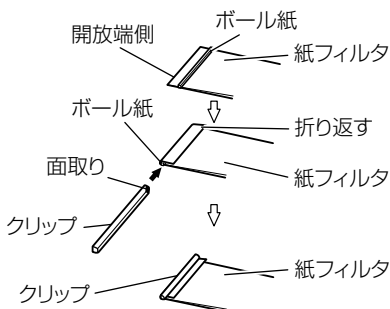
集じん丸のこ	約 150 回の切断 サイディング材 (厚さ 12 mm、幅 450 mm)
	約 240 回の切断 石こうボード (厚さ 12.5 mm、幅 900 mm)
105 mm カップダイヤ付 ディスクサンダ	20 分 (コンクリート表面研削の場合)

- ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。

ホースの変形などの原因になります。

- かんなの切りくず・木片・小石などを吸わせると、ホースや吸込口につまる原因になります。つまった場合は、スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、ファンが停止したことを確認してから、つまったものを取り除いてください。

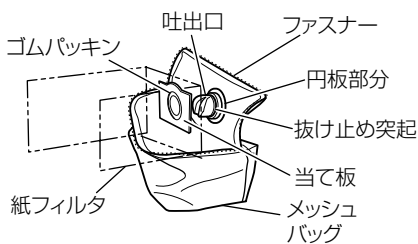
1. 紙フィルタを取付ける [R 30Y3のみ]



- (1) 紙フィルタの開放端側のボール紙を包むよう折り返します。

クリップの面取りした方から折り返し部分にさし込み、取付けます。

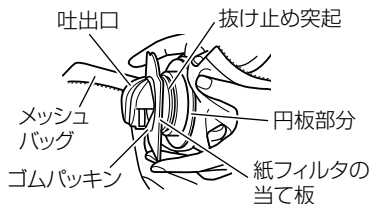
- (2) メッシュバッグのファスナーを開けます。



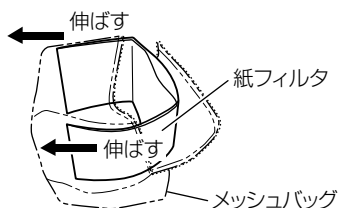
(3) 下記の要領でメッシュバッグの吐出口に紙フィルタの穴部をさし込みます。

(a) 左中図のように、吐出口の円板部分と紙フィルタの当て板を、両手ではさみ込むようにしてさし込みます。

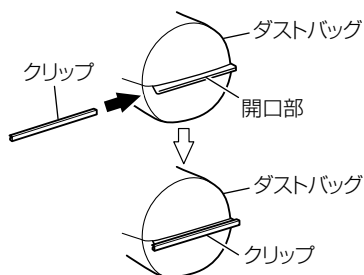
(b) 吐出口にある抜け止め突起に紙フィルタのゴムパッキンがしっかりと引っ掛かることを確認します。



(4) 紙フィルタをメッシュバッグの中で伸ばして収納し、メッシュバッグのファスナーを閉めます。



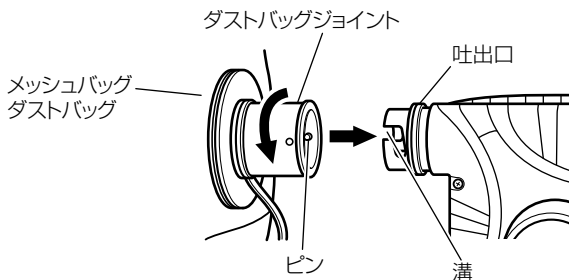
2. クリップを取付ける [R 30Y3(S) のみ]



ダストバッグの開口部を合わせ、端からクリップをさし込み、取付けます。

3. メッシュバッグ、ダストバッグを取付ける

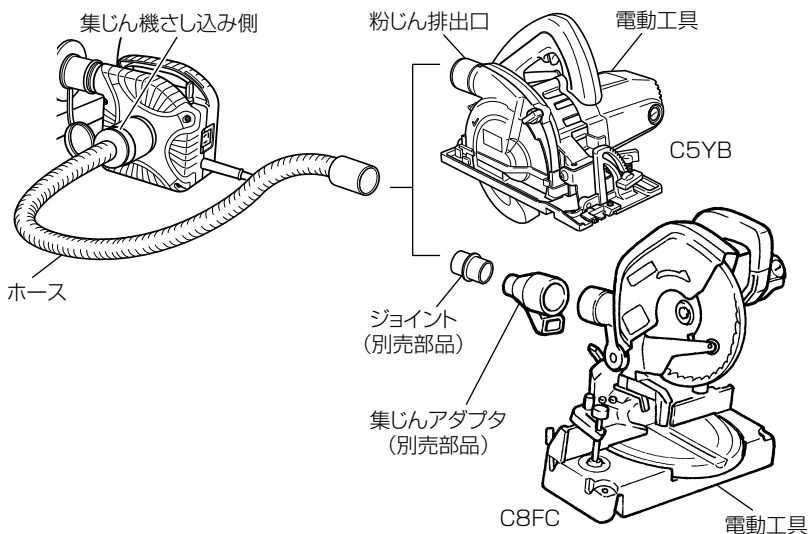
メッシュバッグ、ダストバッグに組込まれたダストバッグジョイントの内側のピンと機体の吐出口の溝を合わせてさし込み、時計方向に止まるまで回して固定します。



4. ホースを接続する

注 •電動工具との接続は、9～13ページの「5. 集じんアダプタ・ジョイント」の項を参照してください。

付属品のホースの集じん機さし込み側を吸込口に挿入し、反対側を電動工具の粉じん排出口または別売部品の集じんアダプタ・ジョイントに挿入します。



5. ホースカバー、ホースバンドを使用する場合

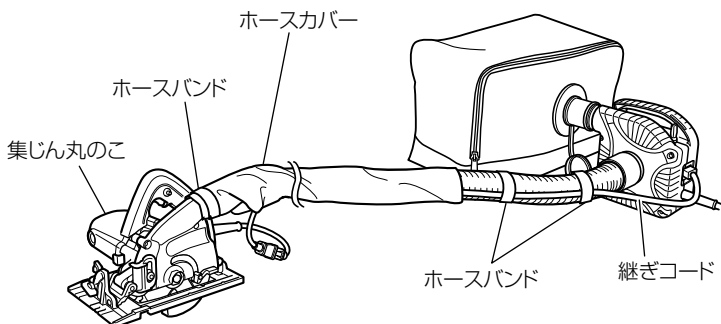
⚠ 警告

- 必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

ホースカバー、ホースバンドは、ショートコード仕様の集じん丸のこの継ぎコードと集じん機のホースを一時的に結束する部品です。

ホースが被削材に引っ掛りにくくなり、またコードが邪魔にならないため、作業性が向上します。

ホースカバーセット（ホースカバー、ホースバンド）に付いている説明書をお読みいただき、取付けてください。



6. 連動用コンセントの使い方

⚠ 警告

- 連動用コンセントには、集じん機のスイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。

電動工具のさし込みプラグを連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。

電動工具のスイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを連動用コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

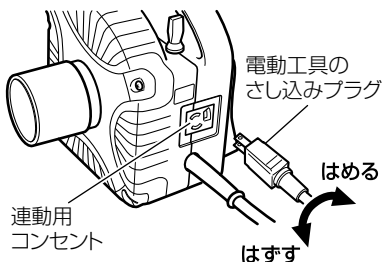
- 接続できる電動工具の消費電力は、1,050 W までです。

1,050 W 以下の製品を使用してください

- さし込みプラグの抜け止めがかかっている状態で、コードを引っ張らないでください。さし込みプラグを左に回し、抜け止めをはずしてからさし込みプラグを抜きとってください。

(次ページへつづく)

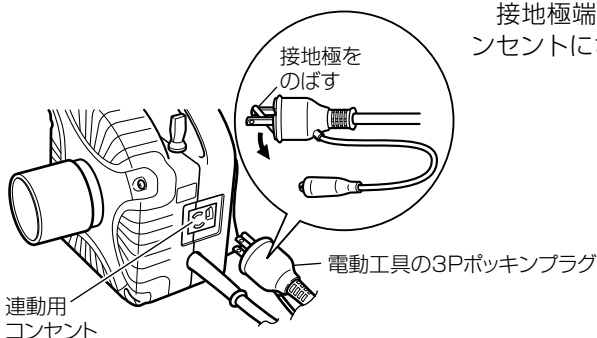
(1) 電動工具のさし込みプラグの接続



電動工具のさし込みプラグを連動用コンセントにさし込み、右に回します。

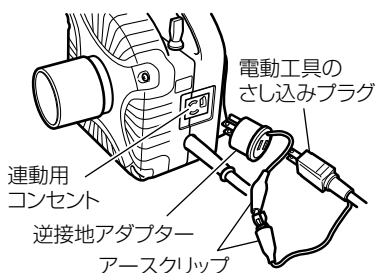
右に回らなくなったところで、さし込みプラグの抜け止めがかかります。さし込みプラグを抜く場合は、逆に左に回してから引き抜きます。

(2) 3P ポッキンプラグ付電動工具の接続



接地極端子を伸ばしてから連動用コンセントにさし込み、右に回します。

(3) アースクリップ付 2P さし込みプラグの接続

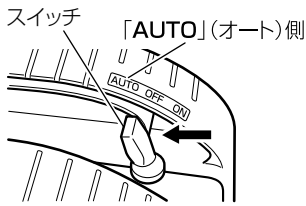


別売部品の逆接地アダプターを連動用コンセントにさし込み、右に回します。次に、電動工具のさし込みプラグを逆接地アダプターにさし込み、アースクリップを逆接地アダプターのアースクリップに接続します。

7. スイッチの操作

(1) 電動工具と連動させて使用する場合

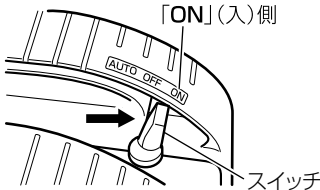
注 •消費電力が 180 ～ 1,050 W の電動工具を連動させることができます。ただし、変速スイッチ付の電動工具は、「低速」で使用すると連動できない場合があります。消費電力が小さくて連動できない場合は、スイッチを「ON」(入)側に倒して、集じん機を単独で運転し、使用してください。



スイッチを「AUTO」(オート)側に倒してください。電動工具のスイッチ操作により、集じん機が連動して運転・停止します。

なお、ホース内の粉じんを吸い込むため、電動工具のスイッチを切った後、集じん機は数秒間運転します。また、作業終了後はスイッチを「OFF」(切)に戻してください。

(2) 電動工具と単独で運転する場合



スイッチを「ON」(入)側に倒すと運転し、「OFF」(切)に戻すと停止します。

8. ちょっと床掃除をする場合

注 •床などに飛散した粉じんの掃除をする場合、少しずつ吸引させてください。一度に吸引すると、ホースや機体の吸込口につまる場合があります。



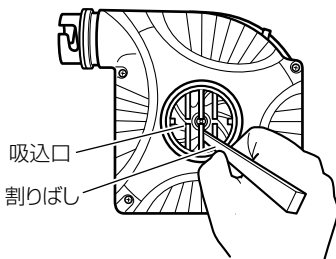
付属品のホースの先端に付属品のすき間用吸口をさし込みます。

ちょっとした床掃除をする場合、便利です。

9. 吸込口の掃除の方法

注 •吸込口の掃除には、割りばしを使用してください。硬い棒などは機体を損傷させる原因になります。

石こうボードのように表面に紙が接着されている材料の切りくず・かんなの切りくずやコンクリートの切削片など木工のこくずより大きいものを吸うと、吸込口に切りくずが詰まります。下記の手順で掃除をしてください。



(1) スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、ファンが停止したことを確認します。

(2) 割りばしを使い、吸込口を掃除します。

10. 粉じんを捨てる



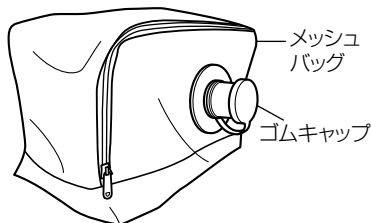
警告

- 必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

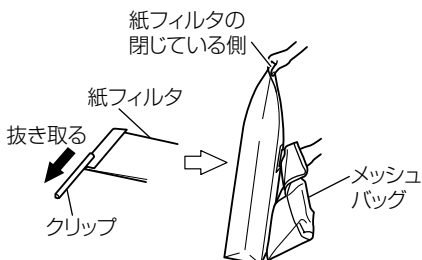
R 30Y3 の場合

注 •紙フィルタの再利用は、2～3回程度にしてください。

紙フィルタが目づまりし、すぐ粉じんが逆流して機体から吹き出します。

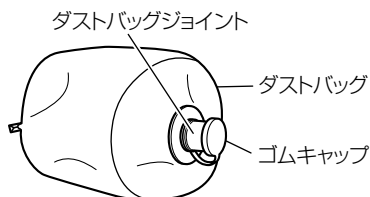


- (1) 機体からメッシュバッグを取りはずし、吐出口にゴムキャップをはめ込みます。

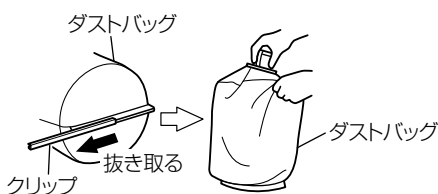


- (2) メッシュバッグのファスナーを開けます。
紙フィルタからクリップを抜き取ります。
次に、紙フィルタの閉じている側とメッシュバッグを持ち上げれば、容易に粉じんを捨てることができます。

R30Y3(S) の場合



- (1) 機体からダストバッグを取りはずし、ダストバッグジョイントにゴムキャップをはめ込みます。



- (2) ダストバッグからクリップを抜き取り、粉じんを捨てます。

過負荷保護ヒューズについて

⚠ 警告

- モーターが回らない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

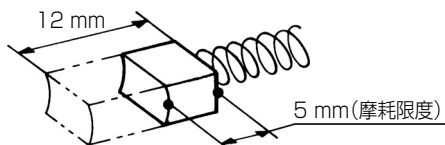
モーター内部に粉じんが入るなどして、異常状態になると過負荷保護ヒューズが切れて、自動的に停止します。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検、手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- めれた手で作業しないでください。
感電やけがの原因になります。

1. カーボンブラシの点検



モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注 • 新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

- (1) カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずすと取り出せます(5 ページの図参照)。カーボンブラシは、必ず 2 個同時に交換してください。
- (2) 新品のカーボンブラシと交換後、ブラシキャップを取付けます。

2. 紙フィルタ、ダストバッグの点検

使用後は紙フィルタ内、ダストバッグ内の粉じんを捨ててください。ためておくと、吸引した粉じんの湿気で紙フィルタが破れたり、ダストバッグの生地が傷む原因になります。

3. 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

4. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

5. 表面のよごれの清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

6. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨がかったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>